

令和7年度 学校評価(関係者評価)シート

(様式2)

学校名	加古川市立加古川養護学校
-----	--------------

1 教育目標	一人一人の個性や可能性を伸ばし、たくましく生きる力を育む
--------	------------------------------

2 基本方針	校訓 【 自立 】 【 友愛 】 【 健康 】
--------	-------------------------

3 指導目標	めざす子どもの姿 五つの「気」に満ちた子 【 意気 】 【 和気 】 【 勇気 】 【 根気 】 【 元気 】
--------	---

評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
自立する能力の育成	ICT機器を積極的に活用し、指導方法の工夫改善を図っている。	B	ICT機器やアクセシビリティ機能を活用し、児童生徒の実態に応じた指導方法の改善を進め、あわせて専門機関と連携し、より効果的な支援の充実を図る。
交流学习、体験学習の充実	交流及び共同学習を推進し、子どもの生活体験の拡大を図っている。	B	交流及び共同学習を推進し、子どもの生活体験の充実を図る。また、地域や関係機関との連携を深め、多様な交流の機会となるよう努める。
進路指導の充実	早期から進路についてに関心を高め、卒業後の生活を見据えて、日々の指導や進路指導に取り組んでいる。	C	卒業後の生活を見据えて、早期から進路への関心を高める取組を進めるとともに、日々の教育活動を通して、キャリア形成につながる指導を充実させていく。
安心・安全な学校づくり	災害や事故等の緊急時に加え、日常的な医療的ケアにおける急変等にも、全職員が迅速かつ適切に対応できるよう、組織的な安全管理体制を備えている。	B	全教職員の情報共有と訓練を徹底し、緊急時や医療的ケアに即対応できる組織体制を構築する。あわせて環境整備とマニュアルの見直しを継続し、学校全体の安全管理体制をより確固たるものとする。
教職員の資質向上	校内研究体制を充実させ、専門性と実践的指導力の更なる向上を図っている。	B	外部講師を招いた研修の継続と組織的な情報共有により、教員の専門性を高める。また、研究授業や検討会の形式を抜本的に見直し、授業の質と実践的指導力の向上を組織全体で推進する。

自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
オンリーワンの指導をされている。ICT機器を使って相手に通じることが大事。機器の使用の仕方が重要。	A
居住地校交流先で、本校の子どもがお客さんになっていないかが大事。個に応じた交流の在り方を検討する必要がある。	A
先を見据えた教育活動を段階的にすすめることや、本校にとっての進路指導とはどういったものなのかの共通理解を図ってほしい。	A
行政も含め、災害訓練や体制を強化してほしい。	A
次年度は、研修を通して教師の意識改革を行い、子どもの気づきを促す教育の充実を図っていく。	A